

令和5年度第3回埼玉県西部地域医療構想調整会議 議事概要

1 日 時 令和5年11月20日（月） 19時00分～20時30分

2 場 所 Zoomによるオンライン開催

3 出席者 委 員 別紙出席者名簿のとおり
23名中22名出席（内：議長委任1名）
委員以外出席者 別紙出席者名簿のとおり
事務局 別紙出席者名簿のとおり
傍聴者 3名

4 議 事

（1）令和4年度病床機能報告・外来機能報告結果について

第2回地域医療構想推進会議（主な意見・質問）について、追加資料により保健所が説明

資料1-1～1-5により保健医療政策課が説明。

（主な質疑等）

- ・（赤津）所沢の病院が閉院した。その病床の再配分はどうなるのか
→（保健医療政策課）第8次計画の中で基準病床数の更新作業を行っている。新たな基準病床数をもとに検討させていただく予定。

（2）病床整備の進捗状況について

資料2-1により医療整備課が説明。

資料2-2～2-8により各医療機関が説明。

（主な質疑等）

- ・ 特になし

（3）医療機関対応方針の協議・検証について

資料3-1～3-2により保健医療政策課が説明。

資料3-3により経営強化プラン（素案）について、所沢市市民医療センターが説明。

（主な質疑等）

- ・ 協議については、異議なし。

（4）病院合併について

概要について、狭山保健所が説明。

資料4により(仮称)狭山尚寿会病院が説明。

(主な質疑等)

- ・ 協議については、異議なし。

(5) 医師の働き方改革に係る特例水準の指定について

資料5により医療人材課が説明。

(主な質疑等)

- ・ (赤津委員) 医師も労働者として評価される時代になった。すべての患者を受け入れることが、働き方改革でできるかが課題となるのではないか。
- ・ (佐伯委員) 大学病院のため、診療と教育研究があるため、バランスが課題となっている。その区分をはっきりさせ、来年4月までに対応できるようにしたい。支援先の医療機関に宿日直許可があるかどうかで時間外等が変わってくるので、病院全体の管理は難しい。まだ、労働基準局と調整中なので、このような会議等で意見を聞き、対応していきたい。
- ・ (石井委員) 4月から働き方改革が始まるが、急に人員が増えることはないので、できることから進めている。患者に迷惑がかからないということが一番重要なので、徐々に改善して体制を整えたい。先生方から意見を聞きながら、改善していきたい。

(6) 地域保健医療計画及び介護保険事業(支援)計画における在宅医療・介護サービス等の追加的需要について

資料6-1～6-2により高齢者福祉課が説明。

(主な質疑等)

- ・ (赤津委員) 近年、施設で最期を迎える人が増えてきている。医療だけでは解決できない問題を、医療・介護・福祉でやっていく。人材不足の中で頑張っていくことが必要。
- ・ (佐伯委員) 当院では、厚生労働省の支援を受け、脳卒中・心臓病等総合支援センターとして、相談窓口を設けている。今後は施設からの相談も考えられるのか。

(7) その他

- ・ 特になし

以上